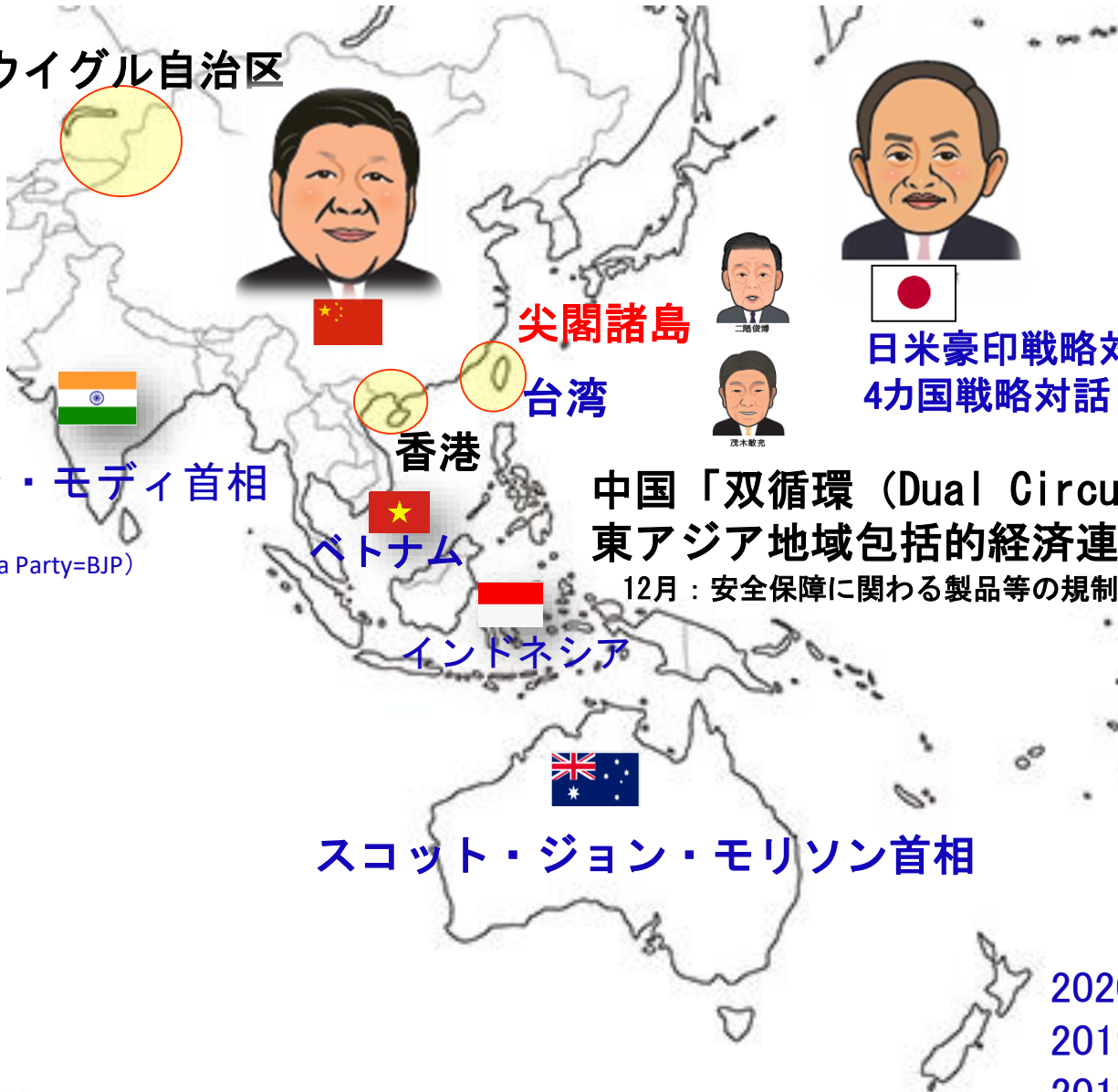


新疆ウイグル自治区



尖閣諸島



日米豪印戦略対話:
4カ国戦略対話:通称Quad(クアッド)



ドナルド・トランプ



FRB議長



次期米財務長官



次期米大統領



ナレンドラ・モディ首相

インド人民党
(Bharatiya Janata Party=BJP)



香港



ベトナム

インドネシア



中国「双循環 (Dual Circulation)」政策
東アジア地域包括的経済連携協定 (RCEP)

12月: 安全保障に関わる製品等の規制強化として「輸出管理法」



スコット・ジョン・モリソン首相

中国企業投資への各種規制

2020年3月・外交支援法「台北法案」署名成立

2019年12月・ウイグル人権法

2019年11月・香港人権法



110.00

医薬品 電気・ガス業

108.00

農林・水産・食料 医薬品
繊維製品、パルプ・紙、化学
情報・通信業 卸売業、小売業
銀行・証券・先物取引、保険、
その他金融、不動産、サービス

107.00

105.00

建設、鉄鋼、非鉄金属、金属製品
石油・石炭製品、ゴム製品、
ガラス・土石製品 電気機器
繊維製品、パルプ・紙、化学
機械、輸送用機器 情報・通信業
精密機器、その他製品 医薬品
陸運業、海運業、空運業、
倉庫・運輸関連業 卸売業、小売業



6199 セラク 東証



6199セラク

企業へのITアウトソーシングサービスを展開する企業。農業IoTプラットフォームである「みどりクラウド」は農業データや、省庁から提供される様々なデータを組み合わせたビッグデータを解析し、AIを活用。作物の成長予測や病害虫の発生予測などを実現。4月からは畜産（養豚業、養鶏業）向けIoTサービス「ファームクラウド」の本格的な営業展開を開始。農業生産、流通・販売における判断のサポートを行うなどシステムインテグレーション事業、並びにデジタルトランスフォーメーション事業が主軸。「デジタル化」と「農業」の2大看板が事業キーワード。公共案件では農林水産省のスマート農業実証プロジェクトなど大型案件を受注。

お客さま限定

<成長株セレクト5の選定基準>

- ・業績の拡大が見込まれる銘柄
- ・テーマ性や技術力などで今後の成長が見込まれる銘柄
- ・ROEが高い銘柄
- ・流動性が高い銘柄

※岡三オンライン証券：投資情報部作成

1926 ライト工 東証

チャート 足一覧

日足 3ヶ月



「成長株セレクト5」での公開日2020/10/26

1926 ライト工業

東京都千代田区に本社を置く建設事業会社。当時、国鉄の老朽化したレンガ造りトンネル漏水、防水事業を皮切りとした経緯からトンネル補修材料名を『明かり（ライト）』とし「Light（光）」と「Right（正しい）」の意味を重ねたのが社名由来。斜面・のり面対策や地中連続壁、薬液注入などの特殊土木技術を駆使し特徴斜面对策工事、地盤改良工事などの基礎土木分野での受注額が全体の約70%。道路・河川・港湾などのインフラ施設の長寿命化に役立つ補修・補強技術を得意とし新工法や検査、研究開発にも余念なく特許、実用新案、意匠および商標等の知的財産権など多数（2020年出願公開件数7件、特許取得件数6件）。

お客さま限定

<成長株セレクト5の選定基準>

- ・業績の拡大が見込まれる銘柄
- ・テーマ性や技術力などで今後の成長が見込まれる銘柄
- ・ROEが高い銘柄
- ・流動性が高い銘柄

※岡三オンライン証券：投資情報部作成

6328 荏原実業 東証

チャート

足一覧

日足

3ヶ月



「成長株セレクト5」での公開日2020/11/2

6328 荏原実業

オゾンの濃度計・空気殺菌脱臭装置関連の製造及び販売、廃液・廃棄物の再生処理装置の製造及び販売、上下水処理施設、空調、医療関連製品の製造販売など環境関連施設の販売から設計施工のエンジニアリング機械メーカーで東証1部上場。オゾンモニタは国内トップシェアで自社工場は持たず製造や施工は外部に委託。環境関連・医療関連機器の研究開発に特化し研究開発施設は国内5か所。環境関連・水処理関連・風水力冷熱機器等関連の3つが事業の軸。病院用空気清浄機や災害用・アウトドア・停電時に有効なポータブル蓄電池が話題。

お客さま限定

<成長株セレクト5の選定基準>

- ・業績の拡大が見込まれる銘柄
- ・テーマ性や技術力などで今後の成長が見込まれる銘柄
- ・ROEが高い銘柄
- ・流動性が高い銘柄

※岡三オンライン証券：投資情報部作成

2151 タケエイ 東証

チャート 足一覧 日足 3ヶ月



「成長株セレクト5」での公開日 2020/11/9

2151 タケエイ

東京都港区に本社を置く産業廃棄物処理会社。首都圏地盤で主に建設業から排出される産業廃棄物の収集運搬から再資源化、最終処分までを一貫対応。各中間処理工場での安定稼働、有価物の分選別などが定評。子会社は福島・秋田・青森などで木質バイオマス発電所を運営。

東北地方3発電所や、第2四半期から連結業績に含めたクリーン電力事業が順調稼働。

お客さま限定

<成長株セレクト5の選定基準>

- ・業績の拡大が見込まれる銘柄
- ・テーマ性や技術力などで今後の成長が見込まれる銘柄
- ・ROEが高い銘柄
- ・流動性が高い銘柄

※岡三オンライン証券：投資情報部作成



2590 ダイドグループホールディングス
 医薬品配置販売業から始まり大同薬品工業株式会社から飲料部門が分離独立して飲料部門のダイドドリンク株式会社が生誕。主力商品が「ダイドブレンドコーヒー」「デミタスコーヒー」の売上比率の約90%が自動販売機からなる。医薬品部門の大同薬品工業株式会社ではエスカップV、アスパラドリンクDX、アリナミンゼロ7などが製造の軸。食品部門の株式会社たらみは果実を使用したゼリー、ヨーグルトが主力製品。コーヒー飲料の販売が人気アニメ「鬼滅の刃」とのコラボ効果により絶好調（全28種・12/18迄）。コロナ禍での非接触販売として自販機チャンネルの売上高も好調。

お客さま限定

<成長株セレクト5の選定基準>

- ・業績の拡大が見込まれる銘柄
- ・テーマ性や技術力などで今後の成長が見込まれる銘柄
- ・ROEが高い銘柄
- ・流動性が高い銘柄

※岡三オンライン証券：投資情報部作成



3150グリムス

2005年設立で東京都品川区本社。電力料金削減コンサルティング、住宅用太陽光発電システム、LED照明の販売、電力の小売を主な事業とし電子ブレーカーの販売拡大を主軸に、LED照明や業務用エアコン、トランスなどの省エネ設備を主とするエネルギーコストソリューションほかスマートハウスプロジェクト、小売電気事業が柱。2020年11月24日付で東証2部から東証1部へ指定。チャート形状は上昇過熱感も東証1部銘柄上場翌月末にTOPIX（東証株価指数）に算入されるため、同指数連動型インデックス・ファンド運用の機関投資家組み入れ需要期待。

お客さま限定

<成長株セレクト5の選定基準>

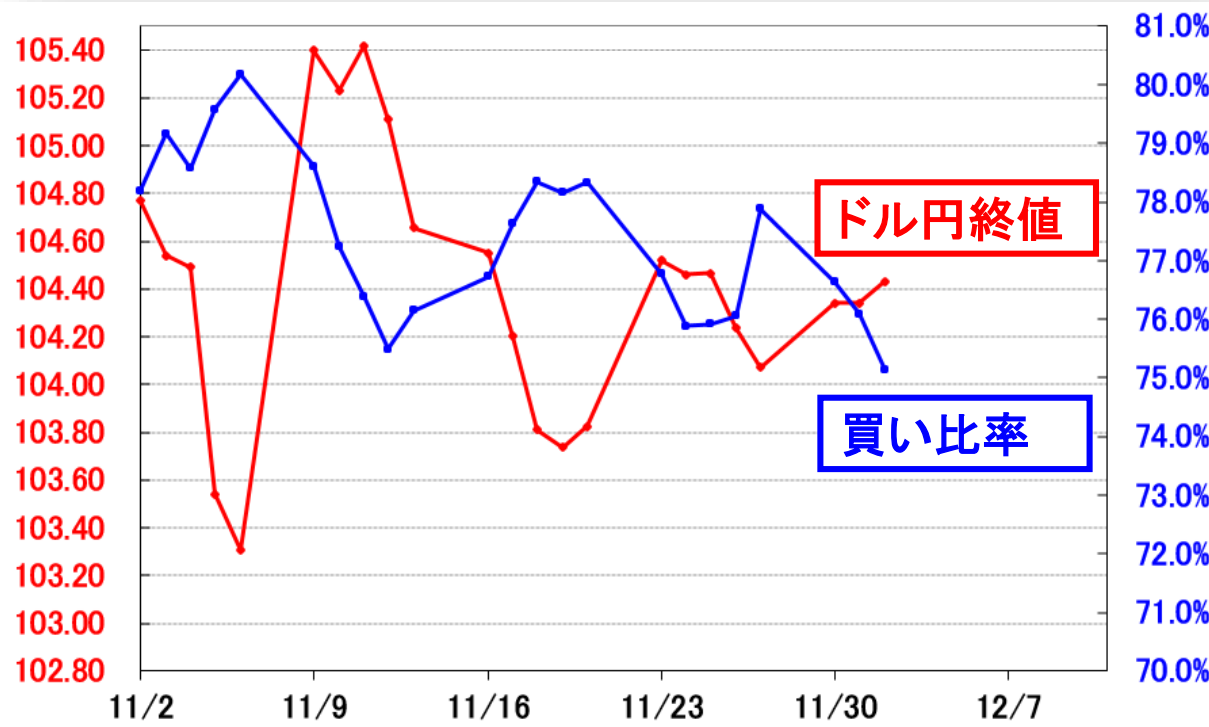
- ・業績の拡大が見込まれる銘柄
- ・テーマ性や技術力などで今後の成長が見込まれる銘柄
- ・ROEが高い銘柄
- ・流動性が高い銘柄

※岡三オンライン証券：投資情報部作成

12/4 (金) 22:30 米労働省発表



米11月米雇用統計	予想	前回
非農業部門雇用者数変化	47.8万人	63.8万人
失業率	+6.8%	+6.9%
平均時給(前月比)	+0.1%	+0.1%



短期ストラテジはこちらで!



①短期ドル円(SJ<365) 今年の売買シナリオ

売買取い特徴

期間	9/27夕刻~9/2取引終了迄
対象	ドル円
予想レンジ	105.80~106.20
エントリー	A/105.80円で新規買い B/106.20円で新規売り
利益確定	A/106.10円で決済売り B/105.90円で決済買い
換切り	A/105.50円 B/106.45円

2020/9/2 木曜日 14:35(15時時点)

※岡三オンライン証券の対東京金融取引所(くりっく365)における買い比率

※買い比率 (買残玉 ÷ (売残玉 + 買残玉) × 100)

<免責事項> 提供している情報の内容について、岡三オンライン証券が保証するものではありません。本資料掲載の銘柄について、岡三オンライン証券が一切推奨するものではありません。

万一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、岡三オンライン証券は責任を負いません。投資にあたっての最終判断はお客様自身の判断をお願いします。

【取り扱い金融商品に関する留意事項】

●商号：岡三オンライン証券株式会社/金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号

●加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

●リスク：【株式等】株価変動による値下りの損失を被るリスクがあります。信用取引、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引では投資金額（保証金・証拠金）を上回る損失を被る場合があります。株価は、発行会社の業績、財務状況や金利情勢等様々な要因に影響され、損失を被る場合があります。投資信託、不動産投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等は、裏付け資産の評価額（指数連動型の場合は日経平均株価・TOPIX等）等、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引は対象指数等の変化に伴う価格変動のリスクがあります。外国市場については、為替変動や地域情勢等により損失を被る場合があります。上場新株予約権証券は、上場期間・権利行使期間が短期間の期限付きの有価証券であり、上場期間内に売却するか権利行使期間内に行使しなければその価値を失い、また、権利行使による株式の取得には所定の金額の払込みが必要です。株価指数証拠金取引では建玉を保有し続けることにより金利相当額・配当相当額の受け払いが発生します。【外貨建て債券】債券の価格は基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動するため、償還の前に売却すると損失を被る場合がございます。また、額面金額を超えて購入すると償還時に損失を被る場合がございます。債券の発行者又は債券の元利金の支払いを保証している者の財務状態の悪化等により、債券の価格が変動し損失を被る場合がございます。債券の発行者又は債券の元利金の支払いを保証している者の財務状態の悪化等により元本や利子の支払いが滞り損失を被る場合がございます。外貨建て債券は外国為替相場の変動などにより、円換算でのお受取金額が減少する恐れがあります。これにより円換算で投資元本を割込み、損失を被る場合がございます。【FX】外国為替証拠金取引（以下、「FX」という。）は預託した証拠金の額を超える取引ができるため、対象通貨の為替相場の変動により損益が大きく変動し、投資元本（証拠金）を上回る損失を被る場合があります。外貨間取引は、対象通貨の対円相場の変動により決済時の証拠金授受の額が増減する可能性があります。対象通貨の金利変動等によりスワップポイントの受取額が増減する可能性があります。ポジションを構成する金利水準が逆転した場合、スワップポイントの受取から支払に転じる可能性があります。為替相場の急変時等に取引を行うことができず不測の損害が発生する可能性があります。【各商品共通】システム、通信回線等の障害により発注、執行等ができず機会利益が失われる可能性があります。

●保証金・証拠金：【信用】最低委託保証金30万円が必要です。信用取引は委託保証金の額を上回る取引が可能であり、取引額の30%以上の委託保証金が必要です。【先物・オプション】発注必要証拠金および最低維持証拠金は、「（SPAN証拠金額×当社が定める掛け目）－ネットオプション価値の総額」とし、選択取引コース・取引時間によって掛け目は異なります。当社のWebサイトをご確認ください。また、変更の都度、当社のWebサイトに掲載いたします。【株価指数証拠金取引】発注証拠金（必要証拠金）は、株価指数ごとに異なり、取引所により定められた証拠金基準額となります。Webサイトで最新のものをご確認ください。【FX】個人のお客様の発注証拠金（必要証拠金）は、取引所FXでは、取引所が定める証拠金基準額に選択レバレッジコースに応じた所要額を加えた額とし、店頭FXでは、取引金額（為替レート×取引数量）×4%以上の額とします。一部レバレッジコースの選択ができない場合があります。法人のお客様の発注証拠金（必要証拠金）は、取引所FXでは、取引所が定める証拠金基準額とし、店頭FXでは、取引金額（為替レート×取引数量）×金融先物取引業協会が公表する数値とします。発注証拠金に対して、取引所FXでは、1取引単位（1万又は10万通貨）、店頭FXでは、1取引単位（1,000通貨）の取引が可能です。発注証拠金・取引単位は通貨ごとに異なります。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●手数料等諸費用の概要（表示は全て税込・上限金額）：【日本株】取引手数料には1注文の約定代金に応じたワンショットと1日の合計約定代金に応じた定額プランがあります。ワンショットの上限手数料は現物取引で3,300円、信用取引で1,320円。定額プランの手数料は現物取引の場合、約定代金200万円以下で上限1,430円、以降約定代金100万円ごとに550円加算、また、信用取引の場合、約定代金200万円以下で上限1,100円、以降約定代金100万円ごとに330円加算します。手数料プランは変更可能です。信用取引手数料は月間売買実績により段階的減額があります。信用取引には金利、管理費、権利処理等手数料、品賃料、貸株料の諸費用が必要です。【上場新株予約権証券】日本株に準じます。【中国株】国内取引手数料は約定金額の1.1%（最低手数料5,500円）。この他に香港印紙税、取引所手数料、取引所税、現地決済費用の諸費用が必要です。売買にあたり円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。【外貨建て債券】外貨建て債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。外貨建て債券の売買、償還にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。【先物】取引手数料は、通常取引コースの場合、日経225先物が1枚につき330円（取引枚数により段階的減額あり）、日経225mini、ミニTOPIX先物、東証REIT指数先物、TOPIX Core30先物、東証マザーズ指数先物、JPX日経インデックス400先物が1枚につき44円、TOPIX先物、日経平均VI先物が1枚につき330円、NYダウ先物が1枚につき880円。アクティブ先物取引コースの場合、日経225先物が1枚につき275円、日経225miniが1枚につき27円です。【オプション】取引手数料は、日経225オプションが約定代金に対して0.176%（最低手数料220円）、TOPIXオプションが約定代金に対して0.22%（最低手数料220円）です。【株価指数証拠金取引】取引手数料は、セルフコースは1枚につき156円、サポートコースは1枚につき3,300円です。【投資信託】換金時には基準価額に対して最大0.75%の信託財産留保金をご負担いただく場合があります。信託財産の純資産総額に対する信託報酬（最大2.42%（年率））、その他の費用を間接的にご負担いただきます。また、運用成績により成功報酬をご負担いただく場合があります。詳細は目論見書でご確認ください。【FX】取引所FXの取引手数料は、セルフコースはくりっく365が無料、くりっく365ラージが1枚につき1,018円、サポートコースはくりっく365が1枚につき1,100円、くりっく365ラージが1枚につき11,000円です。店頭FXの取引手数料は無料です。スプレッドは、通貨ごとに異なり、為替相場によって変動します。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●お取引の最終決定は、契約締結前交付書面、目論見書等およびWebサイト上の説明事項等をよくお読みいただき、ご自身の判断と責任で行ってください。